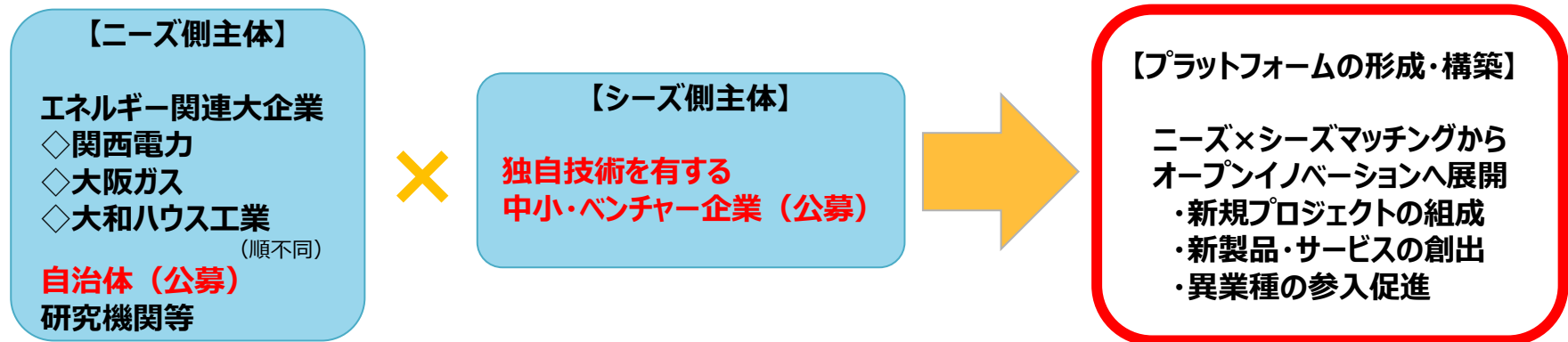


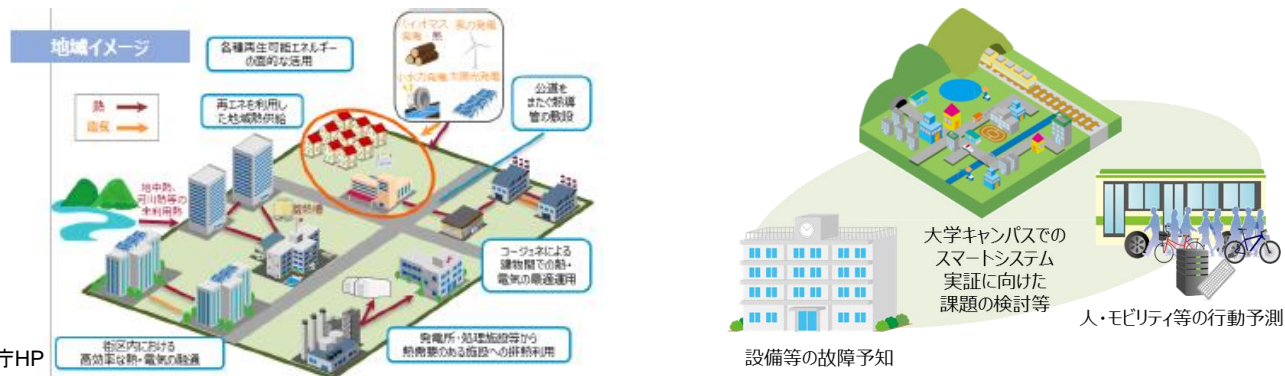
近年の自然災害やGHG削減目標等から、地域において従来を越えるエネルギーシステムの強靱化や分散化、低炭素化、省エネ等の実現が必要。そこで、レジリエンス強化や地域活性化に向けて、自治体、エネルギー関連企業のニーズをもとに、中小・ベンチャー企業のシーズとの共創で新システム、新サービスを検討し、ビジネス化に向け自治体での実装（実証）を目指す取組みの支援を行う。

《ビジネス創出イメージ》

エネルギーの地産地消・スマートエネルギー関連ビジネスの創出支援



スマートシティ、スマートキャンパス等で実装(実証)を目指す



参画後～グループ別検討会への参加

リーダー企業のプロジェクトに関心のある中小・ベンチャー企業、自治体で、技術や意向がマッチすればグルーピングし、プロジェクト化の検討を行うフォーメーションを形成。

令和2年度では各3～5回程度の検討会を実施。

ニーズ/シーズに応じたグルーピング

グループ別検討会（コンセプト検討）

リーダー企業①

関西電力

(大林組、パナソニック、
三社電機製作所)

リーダー企業②

大阪ガス

リーダー企業③

大和ハウス工業

プロジェクト

水素・太陽光・蓄電池等
を組合せた万博会場へ
のCO2フリー電力供給

プロジェクト

エネルギーマネジメントシ
ステムと地域の非エネル
ギーのデータ基盤との連携

プロジェクト

人・街・暮らしの価値
共創グループによる地
域活性化プロジェクト



新しいプロジェクトの創出

・プロジェクトフォーメーション ・開発計画 ・実証、実装に向けたプラン

《プロジェクトフォーメーション》ーグループ内の構成例

構成員	役割
リーダー企業(1社)	リーダー、プロジェクトの推進、会議進行役、全体取りまとめ
自治体(数自治体)	プロジェクト実施(実装・実証)サイト提供※、課題提供
中小・ベンチャー企業(数社)	プロジェクトに必要な技術提供
学識委員	アドバイザー(技術、理論)
中小企業基盤整備機構	アドバイザー(最適な補助金情報提供、手続き)
事務局	進捗管理、各種調整、議事録作成、リーダー補助

※サイト提供は必須ではありません

《検討項目》

プロジェクト案の細部の具現化(細部に至るまで、どのようにやるか掘り下げる)

《検討期間(参画期間)》

令和2年10月中旬～令和3年2月

3～5回程度検討会を実施(主に大阪市内で会議またはオンライン会議)

《成果物》

実証・実装に向けたプラン、スケジュール等

本検討会は近畿経済産業局 令和2年度事業の一環ですが、令和3年度以降の実証事業や製品開発等をする場合に必要な各種支援制度をご案内するとともに、引き続きフォローアップしてまいります。